

---

# エンシャントプレイヤー！

神森 誠二

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

エンシャントブレイカー！

### 【Nコード】

N5716S

### 【作者名】

神森 誠二

### 【あらすじ】

ある日、主人公は不思議な出会いをする。

## 序章 異変

### 序章 異変

変わらない自分、そんな自分が嫌だった。

何か変わるう、と思っけていても結局は考え込むだけで一日が終わってしまう。

とにかく、考え込んでいてもしょうがないので、大学に行くことにした。

ここは大学が集まる都市「アナザーシティ」都市全体の6割が大学で出来ている都市だ。

ちなみに、俺の通っている大学は「国立黄燐<sup>おうりん</sup>大学」だ。当然ながら、国立なので頭が良くないと入れない学校だ。

俺は頭がいい、だがそんな自分が嫌いだ。

ただ頭がいいだけでは面白くない、何か不思議なことでも起こって、不思議な力を手に入れるようにならないか。そんなことを考えていたが、あまりにも非現実すぎたので、考えるのをやめた時、俺はある異変に気が付いた。

「あれ…ここ何処だ」一瞬、俺は自分の目を疑った。いや、疑わざるをえなかった。

ありえないことが起きていたのだ。

崩れかけのビル、消えかけの街灯、凸凹している地面、どれもこれも近代都市では絶対に見ない光景だったのだ。

なんだか不気味だった。

身の危険を感じたのか俺は一刻も早くここから出なければと思いい後ろを振り返った。

しかし一瞬にして希望は潰れてしまった。

道が無かったのだ。いや、正式に言えば道が消えていたのだ。

残っている道は真っ直ぐな道のみ。

前に進めという意味なのか。

しかしそこしか道はなかったの、仕方なく俺はゆっくりと前に進んでいった。

これから始まる不思議な、不思議な物語が始まるとも知らずに。

## 第一章 発端

暗闇の中俺は一人で歩いていった。

あたり一面真っ暗だ。さっきまでであった消えかかっていた街灯も、もう一つも無かった。

頼りになるのは今手元にある携帯電話の明かりだけだ。

つまり、電池が消えたら文字どうり暗闇に、なってしまう。

走りたいのだが地面が凸凹しているので、走りたくても走れない状態だ。

「まったく、いつになったら出られるんだ」俺は独り言を言った。もうかれこれ二時間以上は経っている。

もう、一生ここから出られなくて死ぬのか？

などと、不吉なことを考えているうちに一つの小さな光が見えた。最初は幻覚かと思ったが、目を凝らして見ると、幻覚ではないと思っただ、いや、幻覚ではないでほしい。

そして、進んでいくと光はどんどん大きくなっていて、ようやく光の元にたどり着いた。

しかし、そこは外ではなかった。

「なんだ……これは……クリスタル・なのか」

そう、俺が見たのは、大きな大きな馬鹿でかい、クリスタルだった。

全長三百メートル、横幅百メートルぐらいのクリスタルだ。

よく見ると根本に文字が書かれている。

《このクリスタルを壊すものよ、古いにしえのちからを与えられん》

…どういう意味だろうか、壊す？古？どういう意味か分からない。

「なんなんだよ外じゃないじゃん、くつつつつつつそ、外に出られないのか、

死ぬのか、はあ」と、俺は絶望を感じもう駄目だと思い、力が抜け、尻餅をついた。

その時、何かの音がした。

「ポチ」

何かのボタンの音、まさかと思い俺は自分の尻に目を向ける。すると、赤いボタンがあった。

ゴゴゴゴゴゴゴゴ！と地面が激しく揺れる。と同時にクリスタルもその振動で崩れていく。

「なんだなんだ、この揺れは\$#じえ@&!！」

揺れは数分間続いた。数分経った後、辺りを見渡した、すると手の近くに一つのブレスレットがあった。

「なんだコレ」

そう、このブレスレットこそが、俺の人生を180度変える元凶になるのである。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5716s/>

---

エンシャントブレイカー！

2011年10月8日23時59分発行